

# 聴き合い、語り合いの授業を

## ハイライト：

- ・2 学期の授業づくりのスタンス
- ・子どもたちの目は輝いていますか？
- ・川見先生の授業では、適用問題での姿を
- ・低・高学年部会での授業づくり
- ・授業整理会は、次のように進めます。

## 2 学期の授業づくりのスタンス

夏休みに行った中間報告会では、よりよい授業をつくり出していくための方策について、各部会から有意義な報告をしていただきました。

部会ごとで、重点をおいて取り組んだ内容に違いはありましたが、どれもよりよい授業づくりにあたって、価値ある実践でした。

これからは、中間報告会で山崎教頭先生からご指導を受けたように、それぞれの実践を学校全体のものとして共有していくことで、久原小学校の主題研究における具体的な研究構想を構築していきましょう。

1 学期の公開授業は、国語の学習を中心に行いました。また、授業参観指導では、算数の学習が中心となっていました。2 学期は、公開授業では算数を、授業参観指導では国語を中心に組み込んでいきます。

算数の公開授業では、1 学期の授業参

観指導で明らかになった課題を解決する手だてを仕組んでいきましょう。また、中間報告会で他部会から提起された内容や方法も積極的に取り入れていきましょう。

国語の授業参観指導では、1 学期の公開授業における授業整理会で明らかになった課題を意識して授業づくりを行いましょ。また、算数の学習と同様に、他部会の実践での工夫を取り入れていきましょう。

授業づくりを行っていくうえで、心がけていきたいことは、学んだことを日常の授業に生かしていくことです。

公開授業や授業参観指導の時間は、子どもたちの伸びを検証していく場ではありません。日々の授業やげみの時間で、指導者が「高めたい子どもの姿」を明確に意識して指導していくことが大切なこととなります。

## 子どもたちの目は輝いていますか？

学校経営要綱で示されている目指す授業像は、「子どもの目が輝く授業」です。みなさんの学級の子どもの目は輝いていますか？

中間報告会で明らかになったように、国語の学習においても、算数の学習においても、学習指導要領に示されている内容に基づいて、学習内容や方法を創造していかなければなりません。方法ばかりに目がいくと、何のためにその学習活動を行っているのかがあいまいになってきます。教科の目標を

常に意識して授業づくりを行っていきます。

しかし、それだけで、「子どもの目が輝く授業」をつくり出していくことができるでしょうか。

子どもの目が輝く授業の観点として、「学習の見通しをもとに、聴き合い語り合いの授業」「体験的な活動や子どもの論理を生かす授業」「子どもが問題意識を持ち、積極的に追究する授業」の3つが挙げられています。

これらの観点から、再度、授業を見直していきましょう。

## 川見先生の授業では、適用問題での姿を

9月13日に4年2組で公開授業を行います。今回も、部研として行っていきます。授業は全職員で参観していきます。授業整理会は、中学年部会のみで行います。講師として久山町教育委員会指導主事 安部章先生にご指導いただくことになっています。

今回の川見先生の授業は、「活用」と「くらべる活動」がキーワードになります。

本時の授業は、L字型の面積の多様な求め方を交流し、その考えを活用して、十字型や凹型の面積を求めていくものです。

面積の多様な求め方を全体で交流す

る場面では、自分と違う求積方法を、自分の考えとくらべながら聞くことができるかが見取りの観点となります。友達の考えを聴いている時の子どもの思考の様子を、個別に質問して分析してください。

適用問題を解く場面では、全体交流での考えを理解し、適切に活用できているかが見取りの観点となります。活動を円滑に進めることができている場合は、どの手だてが有効だったのか、活動が停滞している場合は、どんな手だてが必要なのか分析していきましょう。



よりよい授業を  
めざし、子ども  
の目を輝かせ  
ましょう。

## 低・高学年部会での授業づくり

9月13日の授業整理会時、低・高学年部会は、それぞれの部会で道徳の授業参観指導を行っていきます。

### 【低学年部】

- 道徳授業参観指導 15:15~16:00  
校長・教頭・西田・小林・半田・柴田
- 表現スキル検討 16:00~16:45  
※算数指導案審議（半田）

### 【高学年部】

- 表現スキル検討 15:15~16:00  
※道徳授業審議（安部）
- 道徳授業参観指導 16:00~16:45  
校長・教頭・安部・豊原・野口  
力丸・江崎・松原

道徳実践交流会にむけて授業参観指導の期間に入ります。中学年部での算数の授業整理会と併行して、道徳の授業づくりと反省会を設定しています。

道徳の学習においても、めざす授業像は、子どもの目が輝く授業です。そのために「聴き合い、語り合いの授業」をつくってきなければなりません。その基盤となる表現する力は、他教科の学習で高めていくものであり、はげみの時間における表現スキルを高めていくものでもあります。

高めたい力を明確にした表現スキルを実態に応じて重ねていきましょう。

## 授業整理会は、次のように進めます。

司会（井上）記録（植田）	於：会議室
1 講師紹介（校長）	15：15
2 協議	15：20～16：00
3 指導助言	16：00～16：40
安部指導主事	
4 謝辞・まとめ（教務）	16：40

※授業整理会参加者

中学年部（案浦・植田・井上・川見・松原・高倉）  
教務

※公開授業写真（案浦）、研究通信（植田）